

医師を目指す高校生向け企画



高校生1日医師体験に 8つの高校から40名が参加しました。

コミュニケーションスキルを学んだ初回コース(38名)

初回コース(半日)では、「コミュニケーションスキルを学ぶ」をテーマに、医師やデイケア・デイサービスの職員からコミュニケーションのポイントを学び、実際に、デイケア、デイサービスで利用者さんと交流しました。

高校生からは「コミュニケーションを取る際は、笑顔や距離感が大事だということがわかった。また、一人一人の話をしっかりと聞くことも大切なことだとわかった。」などの感想や、「職員の方は声がけだけでなく、表情やジェスチャーも豊かだった」などの感想をいただきました。

研修医には、「採血体験」を実施していただきました。

高校生からは、「初めて注射器や専門的な道具に触れた。姉が看護大学に通っていて、姉の話の一回一回が怖いという気持ちがよくわかった。研修医の先生に点滴の手つきを褒めてもらえただけで、とても嬉しかった。」などの感想をいただきました。



デイサービスげんき
利用者さんとお別れの握手



採血体験(石田先生・小泉先生)

「地域医療・コミュニケーションスキル」を学んだリピーターコース(2名)

リピーターコースは1日かけて、しっかりと上記のテーマを深めました。最初に、臨床心理士の斎藤さんから、「コミュニケーションの特性や意思伝達のスキル」をお話いただき、ロールプレイで学びを深めました。

その後、西村先生の外来を見学し、医師が患者さんとどのようにコミュニケーションを取っているのかを学びました。

午後からは、午前中の学びや体験を踏まえて、デイケアで利用者さんと交流しました。

高校生は「自然にコミュニケーションが取れるよう、なるべく相手の目や、両目のあいだを見るように心がけたが、実際にはうまくいかず難しかった。これから意識して実践していきたいと思う。」と感想を述べていました。

また、坂田先生からは、「宇部・山陽小野田の地域医療の特徴」についてお話いただき、地元で医師として貢献したいと考えている高校生たちの刺激になったようです。



斎藤心理士による
コミュニケーション学習会



デイケアでのレクリエーション

